

◆アメリカ領事館の記録から見るアフリカのドイツ植民地の記録

GALE PRIMARY SOURCES

Archives Unbound

Archives Unbound アーカイブス・アンバウンド

米国国立公文書館所蔵文書デジタル・アーカイブ

アフリカにおけるドイツ領植民地

European Colonialism in the Early 20th Century:

German Colonies to League of Nations Mandates in Africa, 1910-1929

(Source: U.S. National Archives / Content: 5,868 images)

FTE (学生数+教職員数)	5,000 以下	5,001~15,000	15,001~30,000	30,001 以上
買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください			

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※年間管理費(ホスティング・フィー)は不要です

19世紀後半、大不況に襲われたヨーロッパ諸国はアジア・アフリカ地域に自国の市場を確保するために、競うように海外領土拡張政策に乗り出しました。帝国主義時代の到来です。中でも、アフリカでの植民地獲得競争は激しく、1880年頃にヨーロッパ諸国の植民地であったのはごくわずかの地域であったのが、1910年頃にはエチオピアとリベリアを除く全域がヨーロッパ諸国の植民地もしくは保護国と化しました。第一次大戦がヨーロッパで勃発すると、交戦国の戦争がそのままアフリカや太平洋にも移し替えられ、アフリカのドイツ領植民地ではイギリス軍やフランス軍とドイツ軍が激しい戦争を繰り広げ、太平洋のドイツ領植民地は連合国の日本、オーストラリア、ニュージーランドにより占領されました。第一次大戦でドイツが敗戦すると、アフリカや太平洋のドイツ領植民地は国際連盟から委任される形でイギリス、フランス、日本等が統治し、植民地が再分割されました。1930年代にはイタリアが19世紀末に失敗したエチオピア侵略を再度敢行し、併合します。

本コレクションは、米国国立公文書館が所蔵する国務省一般記録群 (RG59) のセントラル・ファイルの中から、アフリカ中西部のギニア湾岸のトーゴランドとカメルーン、南西アフリカ (現ナミビア)、東アフリカ (現、タンザニア、ルワンダ、ブルンジ) のドイツ領アフリカ植民地の情勢に関する米国国務省の文書を収録します。第一次大戦後、トーゴランドとカメルーンはイギリスとフランスの委任統治領、南西アフリカは南アフリカの委任統治領、東アフリカはベルギーなどの委任統治領になりました。収録文書は、1910年から1929年までドイツ領植民地だった時代から第一次大戦の戦勝国の委任統治領になった時代までの約20年に及ぶこの地域の情勢を米国外交官の眼を通して記録したものです。

- ◆プラットフォーム: Archives Unbound
- ◆IP アドレス接続設定・同時アクセス無制限
- ◆ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整等のビューワ機能
- ◆印刷・PDF ダウンロード可能
- ◆メール送信、書誌自動生成、ブックマーク機能
- ◆Google/Microsoft アカウントとのログイン



第一級の学術研究史料をデジタル化！詳細は弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp

